

事務連絡  
令和8年1年13日

管内 宅地建物取引業団体 ご担当者様

国土交通省北陸地方整備局 建政部 都市・住宅整備課長  
国土交通省中部地方整備局 建政部 住宅整備課長

令和7年度 第2回 中部ブロック居住支援勉強会の開催について

日頃より、住宅行政の推進にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、北陸地方整備局及び中部地方整備局では、住宅行政と福祉行政の緊密な連携の下、生活困窮者、高齢者、障害者、子どもを育成する家庭等のうち住宅の確保や生活に配慮を要する方々に対して、入居支援及び入居後の生活の安定や自立の促進に向けたセーフティネット機能の強化を図るため、「中部ブロック居住支援勉強会」を東海北陸厚生局、中部地方更生保護委員会、中部矯正管区と連携して開催しております。

このたび、令和7年度第2回勉強会を下記のとおり開催いたしますので、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

貴職におかれましては貴管内市町村、指定又は指定予定の居住支援法人に対しても別添「周知先」により周知頂きますようよろしくお願い申し上げます。なお、各県の宅地建物取引業団体に対しては、当局より直接周知する旨を申し添えます。

また、本勉強会については、別途、東海北陸厚生局より同局管内の県・市町村の福祉部局、福祉関係者に対して開催案内をいたしますが、関係各課に対してお声かけいただきますようよろしくお願ひいたします。

記

1. 開催日時：令和8年2月5日（木） 14：00～15：30

2. 開催場所：名古屋合同庁舎2号館 3F 共用大会議室（名古屋市中区三の丸2丁目5番1号）

※対面、WEBライブ配信、YouTubeにてオンデマンドによる後日配信（期間限定）を行います。

3. 参加対象者：行政職員（住宅部局、福祉部局、再犯防止部局）、社会福祉協議会職員、

不動産関係者、福祉関係者、矯正・保護関係者、居住支援法人等

※居住支援に関心のある方又は団体であればどなたでもご参加いただけます。

#### 4. 開催内容（予定）

##### ①趣旨説明 テーマ：“居住支援協議会って、本当に必要な？”

中部管内で、昨年、居住支援協議会を立ち上げた愛知県一宮市、静岡県伊豆の国市を実例に、立ち上げに携わった市職員をお招きして現在の活動に至るまでの経験談等について語っていただきます。設立にあたって、「居住支援協議会は本当に必要なのか」という問い合わせ合い、実際に設立に至った際のご苦労等を含めて、市町村単位の居住支援協議会の設立に向けた、行政の住宅部局・福祉部局の連携、意思決定、居住支援法人や民間事業者連携等による居住支援のプロセスを学びます。

##### ②居住支援協議会の取組事例

##### ○登壇者

- ・愛知県一宮市 建築部 住宅政策課 課長補佐 木下和彦 様
- ・愛知県一宮市 建築部 住宅政策課 主任 井口啓佑 様
- ・静岡県伊豆の国市 健康福祉部 福祉事務所 社会福祉課 副主幹 秋山みほ 様

##### ③質疑応答

##### ④情報提供

#### 5. 参加申込み期限：令和8年1月28日（水）17:00まで

#### 6. 参加希望登録及び問い合わせ先

下記のオンラインURL、メールのいずれかで申込みください。

後日配信するYouTubeの視聴のみを希望される方も、申込みをお願いします。

##### ◇オンライン申込み

URL : <https://forms.office.com/r/H8Fhti5r71>

URL または下記の二次元コードの申込フォームよりお申し込みください。

##### ◇メール申込み

「参加希望登録票」を下記のメールアドレスまでご提出下さい。

中部地方整備局 建政部 住宅整備課 担当：荒井、小坂部

メール：[cbr-jyutaku@mlit.go.jp](mailto:cbr-jyutaku@mlit.go.jp) TEL：052-953-8574

#### 7. その他

- ① 過去の勉強会に参加されていなくても、ご関心のある方は是非ご参加下さい。
- ② 会場の都合上、対面参加希望者多数の場合は調整させていただく場合があります。
- ③ 勉強会資料については、当日会場にて配布いたします。また、中部地方整備局のHPにも掲載いたします。過去の資料についても掲載しておりますので、ご参照ください。

[https://www.cbr.mlit.go.jp/kensei/con02\\_benkyoukai/index.html](https://www.cbr.mlit.go.jp/kensei/con02_benkyoukai/index.html)

令和7年度第2回中部ブロック居住支援勉強会(2/5) 参加申込みフォーム

